

平成 24 年 1 月 31 日

「株式判例・事例研究会」第25回開催のご案内

株式会社 B S M 事務局

皆様方

平成 24 年 2 月 16 日(木)「株式判例・事例研究会 第 25 回」を、下記のとおりご案内申し上げます。今回は前回に引き続き「オリンパス事件」を取り扱います。

前回の発表では、バブル経済の崩壊によりオリンパスが金融資産に多額の含み損を抱えた経緯、そして、その含み損を抱えた金融資産を連結外のファンドへ「飛ばし」たまでを発表いたしました。そこでは、3つのルートから資金を調達し「損失処理スキーム」を構築していました。この「飛ばし」の足跡はしっかり有価証券報告書に残っていたことが分かりました。今回のオリンパス事件第2回目の発表は事件の核心に迫ります。「損失解消スキーム」を構築し、幾多の会社を莫大な資金を使って買収します。そして「飛ばし」た損失を解消しようと目論むのです。そこではオリンパスと監査法人の激しい攻防も見られました。

前回に引き続いての内容ですが、前回ご参加出来なかった方にも分かりやすく解説いたします。発表は弊社取締役の後藤英彦（公認会計士・税理士）です。前回（第 24 回）配布いたしました資料を今回も使用いたしますのでご持参くださいますようお願い申し上げます。

会場は、いつもの LEC 東京リーガルマインドの会議室です。なお、公認会計士の方には、日本公認会計士協会 CPE 認定研修となりますので、3 単位が付与されます。

日本公認会計士協会 CPE 認定研修（3 単位）	
日時	（第 24 回）平成 24 年 2 月 16 日（木）19：00～21：30
テーマ	テーマ「オリンパス事件の真相に迫るー過去 20 年間の有価証券報告書分析による粉飾の解明ー②」 発表者：公認会計士・税理士 後藤英彦氏（株式会社 B S M 取締役）
会場	LEC 東京リーガルマインド大学 千代田キャンパス 東京都千代田区三崎町 2-2-12 塩谷ビル A 2 1 教室 (地図上の A のビルです) ※1F に郵便局があるビルです
出欠のご確認	出席のご確認をしたく、下記メールにてご回答の程お願い申し上げます。



ご参加される方には、資料代とお夜食（弁当）の実費として¥2,000 のご負担をお願いしております。お申込みの方は、下記まで、ご一報をお願い致します。

株式会社 B S M 事務局

Tel 03-5275-3855 Fax 03-5275-3859

E-mail : info@bsmgroup.jp